

株式会社群馬銀行

所在地：前橋市元総社町194
労働者数：3,341名（女性1,305名、男性2,036名）
事業内容：普通銀行業
代表者：取締役頭取 齋藤 一雄



女性の能力発揮に向けた子育て支援

少子高齢化のなか、女性の能力を十分に活用することは大きな使命と考えています。一企業としても、人材育成は重要な課題の一つであり、能力のある女性従業員が子育て等の理由で退職することのないよう、従業員の子育て支援に力を入れています。

女性の能力発揮を目的として、資産運用相談業務などを担当する部門への配置や、管理職への登用を積極的に行っています。

また、管理職登用に向けた意識醸成やマネジメント能力向上のための研修等を実施しており、女性管理職も増加しています。



齋藤頭取

育児休業取得者の業務のフォロー

従業員に安心して育児休業等を取得してもらうために、育児休業等による人員補充等の要請があった際は、スムーズに対応ができるような人事管理を行っています。また、掲示文書や研修等において育児支援制度に関する一層の周知と理解を図っています。

円滑な職場復帰に向けて、休業中に、自宅のパソコンから行内文書を閲覧できるシステムを導入し、業務知識の習得を支援しています。さらに、子どもや配偶者も参加できる職場復帰支援セミナーの実施や電話相談窓口の設置により、不安が和らぐようにしています。



群馬銀行は、働きやすい職場づくりを積極的に取り組んでいます。

年次有給休暇の取得促進

- ・ 制度休暇…有給休暇のうち、年10日を制度休暇として取得を促進
- ・ 半日休暇制度…10回を上限とし、取得可能
- ・ 計画的な休暇取得の徹底

時間外労働の削減

- ・ 定時退行日（月4回実施）
 - ・ You 裕 7デー（19時前の退行 月3回実施）
 - ・ 終業時刻10分前の終礼実施
 - ・ 提案制度による業務の見直し
- ※提案制度：従業員のアイデアを募集・活用し、サービスの向上、業務改善などを図る制度

群馬銀行の概要を紹介します。

設立 昭和7年9月

本店所在地 群馬県前橋市元総社町194

拠点数 国内149店舗（県内105、県外44）

海外 1店舗（ニューヨーク） 1駐在員事務所（上海）

1現地法人（香港）



「女性ワーキンググループ」の発足

女性ワーキンググループは、女性行員の意欲と能力を高め、その力を発揮できる環境を整えることを目的として立ち上げたグループです。

女性の目線で、従業員が活躍する上での課題について意見を出し合い、解決に向けた提言をおこないます。

また、男性も含めた全従業員が、仕事と家庭生活との調和をとりやすい職場づくりを目指し、男性行員の育児休業取得の促進や時間外勤務削減の意識醸成など、一層の育児・介護への参加を奨励する取組みを検討していきます。

女性ワーキンググループ



くるみんマークの活用

くるみんマークをホームページや従業員の名刺、採用活動などに活用し、子育てサポートに熱心な企業として銀行内外にアピールしています。

次世代育成支援計画（第4次）期間が平成27年3月31日に終了しますが、今回もくるみんマークの取得を目指しています。

くるみんマークの活用



育児・介護休業制度の概要

- ・ **育児休業**…子が2歳に達する日の月末まで取得可能。
- ・ **育児短時間勤務制度**…子が3歳に達する日の月末まで利用可能。
- ・ **育児のための所定外労働の免除制度**…子が小学校に入学するまで利用可能。
- ・ **子の看護休暇**…子が小学校4年生になるまで、病気等の看護のため、子が1人の場合は年5日間、2人以上の場合は、年10日間取得可能。
- ・ **介護休業及び介護短時間勤務制度**…要介護状態の家族介護のため、通算365日（期間雇用者は93日）利用可能。